

体験授業 PROGRAM

体験授業①

「アスレティックトレーナー」とは

時間—12:30~13:10 場所—教育研究棟 2階 3201教室

講師 河野 徳良 准教授

体育学部体育学科

アスリートの活躍とともに、その裏方のひとりであるアスレティックトレーナーも認知されてきています。しかしながら、アスレティックトレーナーを取り巻く環境はなかなか理解できていないのが現状です。この授業では、アスレティックトレーナーの役割、資格、就職などについて、オープンキャンパスまたは授業内でしか紹介できない「野球日本代表チーム(侍ジャパン)」における具体的例も含め紹介します。【注意事項】選手の肖像権問題があるため撮影および録音は禁止させていただきます。

体験授業②

血管を軟らかくして健康度を高める

時間—12:30~13:10 場所—教育研究棟 2階 2201教室

講師 岡本 孝信 教授

体育学部健康学科

心臓は血液を送り出し、血管はその血液を全身に送り届ける役割を担っています。心臓から送り出された血液には酸素や栄養素がふんだんに含まれており、運動やスポーツはその酸素や栄養素を利用して行っています。運動やスポーツを行う際にはどうしても筋肉に注目が奪われがちですが、高いパフォーマンスの発揮やトレーニングによる筋肥大に関しても血管を通して酸素や栄養素が十分に供給される必要があります。本体験授業では普段あまり意識することがないであろう「血管」に注目し、その重要性和健康増進との関連性についてお話します。

体験授業③

相撲の基本的な姿勢と動作

時間—13:40~14:20 場所—スポーツ棟 G階 相撲場

講師 伊東 良 助教

スポーツ文化学部武道教育学科

武道はわが国固有の文化であり、相撲はその中でも長い歴史と伝統の中で発展してきた日本の国技です。相撲を通じて、健康的な身体を養い、武道の伝統的な考え方を理解することで相手を尊重し、思いやる心を育むことができます。また、基本的な動作や技術を身につけ、相手の動きに応じた攻め方、防ぎ方を学ぶことで、勝敗を競い合う楽しさ、喜びを味わうことができます。「心技体」どれが欠けてもバランスを崩してしまい、力を発揮することができません。これが相撲であり、武道の魅力です。体験授業では、蹲踞や構えなどの基本的な姿勢と、四股やすり足などの基本的な動作を行います。裸足になって授業をしますので、あらかじめご了承ください。

体験授業④

「体をつくる!？」体操で自分の体を操ってみよう!

時間—11:20~12:00 場所—スポーツ棟 B階 中体育館3

講師 小柳 将吾 助教

スポーツ文化学部スポーツ国際学科

学校の授業でも実施されている「体づくり運動」。様々な運動方法によって授業が展開されていますが、みなさんは自分の体を思い通りに動かせますか?思い通りに動かすことができれば、あらゆる運動・スポーツに活かすことができます。自分の「体」を自由自在に「操」れる。さあ、一緒に動いて学んでみましょう。

体験授業⑤

スポーツで稼ぐのは、良いこと?悪いこと?

時間—11:20~12:00 場所—教育研究棟 2階 2202教室

講師 横田 匡俊 准教授

スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科

プロスポーツ、スポーツメーカー、フィットネスクラブなど、スポーツに関する様々なビジネスがあります。このようなスポーツビジネスが成功するには、どのような工夫や仕組みが必要なのでしょう?また、スポーツで稼ぐことには、どんな意味があるのでしょうか?一緒に考えてみましょう。

体験授業⑥

アンチ・ドーピング

時間—12:30~13:10 場所—教育研究棟 2階 2202教室

講師 依田 充代 教授

スポーツマネジメント学部スポーツライフマネジメント学科

ドーピングは競技能力を高めるために薬物などを使用することであり、スポーツにおける禁止行為であります。そして、ドーピングはスポーツ精神に根本的に反するものであります。しかし、オリンピックや大きな世界大会が開催される度に、ドーピング違反者は後を絶ちません。ドーピングはスポーツの基本的理念であるフェアプレイに反する行為であり、スポーツの価値を自ら否定することになり、スポーツの文化的価値をも失わせることでもあります。また、ドーピングは選手の健康を害し、社会的にも悪影響を及ぼすこととなります。本講義は、スポーツ基本法の第29条にある「ドーピング防止活動の推進」について理解し、体育大学生としての倫理やそれを実践するための姿勢、将来の指導者としてのリスクマネジメントについて学び、スポーツの価値について理解することを目的としています。今回の体験授業では、スポーツマネジメント学部必修の「アンチ・ドーピング」の中から、第12回「ドーピング問題の実際」の講義を通して、①ドーピングの世界的動きについて学び、②ドーピングがなぜ起こるのかについて一緒に考えていきましょう。

体験授業 PROGRAM

体験授業⑦

子供の絵の見方

時間—11:20~12:00 場所—教育研究棟 2階 3201教室

講師 奥村 高明 教授

児童スポーツ教育学科児童スポーツ教育コース

子どもの絵は、自分の体験、友達の声、先生の指導など様々な教育資源から生まれます。それは、大人の目線からではなく、描いた子供の視点から見ていくことで理解できます。ポイントは3つ、①近づく(絵の部分を見る)、②たどる(描いた順番を確かめる)、③考える(題名なども参考にまとめる)です。一枚の絵を、まるで、解きほぐすように見ていくことを通して、子供の考えや心をとらえましょう。

体験授業⑧

音楽表現の楽しさを体験しよう！

時間—12:30~13:10 場所—教育研究棟 3階 3301音楽室

講師 中島 龍一 教授

児童スポーツ教育学科幼児教育保育コース

子どもの歌を題材として、歌詞に込められたメッセージを考え、その伝え方や指導法を実践的に学びます。子どもと関わるために、音楽というひとつのツールを使ってどのようなことができるのか、その使い方と楽しさを体験していただきたいと思っています。Let's Try!!

体験授業⑨

スポーツ活動における「けが」と柔道整復師の役割

時間—13:40~14:20 場所—教育研究棟 2階 2201教室

講師 服部 辰広 准教授

保健医療学部整復医療学科

スポーツ活動に対する国民の意識は、健康寿命の提唱を背景として年々高まっているように感じます。総務省(2015年)によると「週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合」は全体の40%を占め、スポーツに対する意識の高さが見て取れます。一方、スポーツ活動には外傷や障害といった「けが」が多いのも事実です。今回の体験授業では、スポーツ活動における「けが」に対して、柔道整復師が日常どのようにかわっているかを中心にお話したいと思います。

体験授業⑩

救急救命士への道

—助けを待っている誰かのため、あなたもヒーローになりませんか?—

時間—13:40~14:20 場所—教育研究棟 2階 2202教室

講師 中澤 真弓 准教授

保健医療学部救急医療学科

救急医療学科では、「救急救命士」を養成しています。救急救命士とはどのような職種なのか、どうすれば国家資格を取得できるのか、どのような分野で活躍しているのかなど、「救急救命士とは何か」が理解できるように説明します。当学科では、コロナ禍でも教育の質を落とすことなく、感染防止対策を徹底しながら講義や実習を行っています。最先端のVR教材の導入や、電動ストレッチャーを搭載した救急車を活用した実習、学生の研究発表会など、どのような教育を行っているのか紹介します。救急現場における女性活躍の取組みについても、講師の経験談も踏まえ、お話しします。皆様のお越しをお待ちしています！